



「遊び」でつなぐ「こども」と「おとな」 1日限りの手作りテーマパーク！！

～「第31回練馬こどもまつり」でさまざまな遊びを楽しむ～

と き 5月12日(日) 午前10時30分～午後3時30分 ※11日(土)が雨天のため順延

と ころ 都立光が丘公園 芝生広場(光が丘4丁目)
都立石神井公園 ポート池南側(石神井町5丁目)

12日、都立光が丘公園と都立石神井公園で「第31回練馬こどもまつり」が開催され、快晴の中、親子連れなど延べ5万人以上が訪れた。「練馬こどもまつり」は、親子と一緒に楽しめる遊びを通して家族や子ども同士の交流を深めてもらおうと、昭和58(1983)年から毎年開催され、今年で31回目。主催は練馬区教育委員会。

当初は11日に予定されていたが雨天のため順延。そのため、毎年人気のツリークライミングなど、行われなくなったものもあった。そんな中でも体験型の遊びが数多く用意され、また、ステージでは、子どもたちがこれまで練習を重ねてきたダンスや合唱などを元気いっぱい披露していた。ジャンボパチンコを体験したと親子は「こわかった」「手作りの、簡単な仕掛けだが楽しめた。いろいろな児童館があることもわかってよかった」とこどもまつりを満喫していた。



ステージのようす



ジャンボパチンコ

【子どもたちが主役！ 両会場で40を超える「遊び」に大歓声！】

練馬こどもまつりの主役は子ども達。たくさん子ども達が来場できるように、2つの広大な公園で開催している。順延となったこの日は昨日の雨から一転、晴天に恵まれ、家族連れや友達同士など延べ5万人以上(両会場合計)が訪れ、子どもたちはさまざまな遊びを楽しみ、笑い声や歓声が絶えることがなかった。

■光が丘公園会場

スタンプラリーやジャンボパチンコなどの企画が目白押しで、子どもたちはさまざまな遊びを体験していた。また、ステージでは、バンド演奏やフラダンスなど、今まで練習してきた演技を子どもたちが元気いっぱいに披露した。

■石神井公園会場

ベーゴマやバルーンアートなど単純だが奥が深い遊びに子どもたちが夢中になっていた。ステージではダンスやバトントワリングなどバラエティに富んだプログラムを披露した。

【「練馬こどもまつり」って?】

「練馬こどもまつり」は、親子と一緒に楽しめる遊びを通して家族や子ども同士の交流を深めてもらうとともに、児童館・厚生文化会館といった児童厚生施設が、住民団体などの参加団体と相互交流を広げる目的で開催されている。まつり当日は、子育てサークルやNPO法人、児童館などの各団体が子ども向けの楽しい遊びを各コーナーで実施した。参加団体の多くが普段から児童館で活動しており、児童館と同じく毎年参加している団体も数多い。